

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年9月1日（木）現在

【 果 樹 】

< モ モ >

市場の入荷量が減少してきたことで、ようやく需給バランスが安定してきている。

出荷はまだ続くことから、売場をシーズン終了まで確保していく販売となり、相場は保合の見通しとなる。

「川中島白桃」：特秀 15 玉 3,000 円～ 青秀 15 玉 2,700 円～

「ゆうぞら」：特秀 15 玉 3,000 円～ 青秀 15 玉 2,700 円～

< ナ シ >

「幸水」は栃木県、福島県、新潟県産中心で、「豊水」は茨城県、千葉県産の入荷となっており、荷動きは鈍い状況となっている。相場は保合で展開となっているが、月が替わっても販売状況は厳しい状態が続いている。

「幸水」：特秀 32 玉 4,000 円 秀 32 玉 3,500 円

【 野 菜 】

< きゅうり >

量販店では、月替わりの商材としてきゅうりが選ばれる場合もあり、9月頭まで引き合いは強く、堅調相場での販売となる見通し。

一方で、関東抑制作は日々増量しており、無加温作の出揃いとなる10日前後を目安に売り込みを強めるため、徐々に相場を弱める見通し。

@A 2,300 円 ～ 2,100 円

< ミニトマト >

北海道や東北産など入荷は少ないまま推移しており、堅調相場維持の保合での販売となる見通し。

@AM 200 円 ～ 180 円